

教育研究研修センターだより

通巻 No. 304

令和8年6月30日（火）発行



【OJT+PLUS について】

教員の年齢構成は、いよいよ「急速な世代交代」という新たな局面を迎えています。そのような中で学校現場では今まで以上に校内 OJT の充実が必要になります。校長先生のリーダーシップの下で、OJT にかかわる校内体制推進の一環といたしまして、「教育センターの OJT 支援員による支援」と初任者研修実施校においては、「拠点校指導教員による支援」の機会を最大限に活用していただくため、令和7年度まで6年間行っていた「OJT 若手教員育成支援プロジェクト」を、このたび「OJT+PLUS」として、リニューアルすることにいたしました。

主な特徴はつぎの3つです。

- ① これまで通り、岡山市教育研究研修センターの OJT 支援員が学校を訪問し、支援をします。
- ② すべての小・中・義務教育学校へ、支援を広げました。
- ③ 初任者研修実施校においては、今まで以上に「拠点校指導教員による支援」も併せて活用していきます。

支援の対象となるのは経験年数1～3年目の常勤講師と2、3年目の教諭です。

事業の最大の目的は、各校が主体的に行っていく「若手教員の人材育成体制の構築」のお手伝いをすることです。校長先生のリーダーシップのもと、学校と拠点校指導教員、そしてセンターがお互いの力を補い合いながら、若手教員の育成に努めていきたいと思ひます。

【初任者研修講座について】

今年度は小学校103名、中学校48名、義務教育学校2名の153名が初任者研修講座を受講しており、授業づくりや学級経営、ICT の活用など様々なことを学んでいます。また、今まで以上に多くのセンター所員が初任者研修講座に関わり、初任者をサポートする体制を整えています。



【第5日】の様子

【第5日】では、11校に協力をいただいて、先輩教諭の授業参観・協議を行いました。先輩方の授業から、授業の構成だけでなく、こどもとの関わり方や規律についても学びました。

悩みながらも成長され続ける初任者の先生方を、これからもセンター職員みんなで見守っていききたいと思ひます。



【第2日】の様子

【希望研修講座について】

夏季休業中は、「自己研鑽」を図る絶好のチャンス！センター指導主事に加え、大学の先生や企業人など、多彩な講師陣とともに、授業アイデア力や実践力向上を目指し、一緒に学びませんか。ボードゲームで遊びながら、授業と世界のつながりを考える「SDGs・ESD 研修講座」、地域課題を自分事として捉え、学びの質を深めるヒントを探す「公民館連携講座」、そして地域の魅力を学校戦略に生かし、新しい学びをどう創造していくかを考える「岡山魅力再発見研修講座～ファジアーノ岡山から学ぶ「愛着と誇り」～」など、特におすすめです！詳細は右の二次元コードをご参照の後、Plant からお申込みください。



各研修講座のリーフレットはこちらから！

【大学連携について】

センターでは、大学と連携した取り組みを進めています。今年度のおもな取り組みとして、教職員研修の一部に学生が参加する機会を設けています。学生の教職員研修への参加は、現役の先生方にとっても刺激となり、新センターのコンセプトのひとつである「刺激の環」を循環させることにもつながります。また、学生にとっても、将来働きたいと思っている教職や岡山市の教育について知る良い機会となっています。

現在、建設が進んでいる新センターでは大学との連携スペースを設置し、地域の大学と新センターが今まで以上に交流ができるよう準備を進めているところです。こどもたちだけでなく、大人も「学び続ける」ことが求められる時代において、新センターが先生方や教職をめざす学生、こどもたちの学びの場のひとつとなるように、中身の充実についての整備も進めています。

「教師の学びの姿はこどもの学びの相似形」。センターでは、先生方の学びを応援していきます。今後も、ホームページなどで大学などの地域資源との連携についても情報を発信していきます。

【新教育センターについて】

○研修講座での説明

新教育センターの概要について、広く先生方に知っていただくために、研修講座で部屋の概要やコンセプト等を説明しています。ほとんどの受講者が、新教育センターが整備中であることを知っており、先生方にとって興味深いトピックスであることを再認識しました。

また、教員を目指す大学3年生を対象とした岡山市教員養成セミナー「夢への扉」においても説明を行いました。

特色ある研修室の説明の際には、多くの受講者のわくわくした表情がうかがえ、今後、この新教育センターでともに研修を進められることが楽しみになりました。



「3年目研修講座」から

○工事の進捗状況



(令和8年6月4日現在の様子)

現在、建物を支える基礎工事が完了し、1階部分の床づくりが進められています。

今後は鉄筋を組み立てて、そこにコンクリートを流し込み、建物の骨組みを順次完成させていく予定となっています。

前号の写真と比べて、建物の土台づくりが進んでいるのがはっきりと分かりますね！！
次号では、どこまで進んでいるか楽しみにしておいてください！！

